

神杉まちづくりビジョン

～ 天降り伝説の里に ～

人々がふれあい
地域が輝くまちづくり



平成18年3月策定

平成26年7月改定

神杉まちづくりビジョン策定委員会

はじめに

『神杉まちづくりビジョン』策定にあたって

住民自治の目的は、「自分たちのまちは、自分たちでつくる」の理念に基づき、住民の自主性と民主的精神を尊重し、相互のきずなを深め、具体的な活動を通じて地域の健全な発展を図り、生活の向上と福祉の増進に寄与することにあります。

「私たちの郷土を愛し、私たちのまちは私たちの手で、明るく豊かな住みよいまちをつくろう」との共通認識のもと、お互いに協力して住みよい地域づくりに努めていくことが大切です。

「安心して子育てができるまち、若者が希望のもてるまち、高齢者がいきいきとして暮らせるまち」づくりを目指して、住民自らが日常生活の中における地域の共通した課題について、みんなで協議・検討する仕組みとルールをつくり、少子・高齢化社会に対応した総合的な地域活動を推進することが求められています。

そのために、お互いに「神杉地域」活性化の「夢」と「ビジョン」を語りながら、「人々がふれあい、地域が輝くまちづくり」を実現していくため、神杉の未来を見据えた「神杉まちづくりビジョン」を策定するものです。

地域づくりの基本方向

基本目標

天下り伝説の里に
「人々がふれあい、地域が輝くまちづくり」

将来像

か

神杉の歴史と自然にふれあうまち
【歴史・環境】

み

みんなの個性が光るまち
【文化・スポーツ・健康】

す

住んでよかった笑顔あふれるまち
【生活・福祉・産業】

ぎ

気軽に集いふれあうまち
【交流・自治】

地域の概況

旧神杉村は、明治22年に廻神、高杉、江田川之内の三村が合併して誕生し、廻神と高杉の一字ずつをとって村名としました。明治31年には、三谿郡と三次郡が合併し双三郡となりましたが、昭和29年1月31日、8町村が合併して旧三次市となり、川地村・川西村を編入の後、平成の大合併により、平成16年4月1日、旧三次市・旧双三郡・旧甲奴郡甲奴町が合併し、新生三次市が誕生しました。

神杉地域は、三次市のほぼ中央部に位置し、北東部の江田川之内町、中央部の高杉町、南西部の廻神町及び三若町の一部からなっています。

地勢は、北東より南西に細長く、中央部を縦断して芋面川が流れ、馬洗川にそそいでいます。北東部の江田川之内町側は、国道184号(尾道～松江)や芸備線(神杉駅)が通過し、美波羅川や馬洗川に囲まれています。中央部の高杉町には、県史跡の高杉城跡(祝城跡)、市重要文化財の知波夜比古神社本殿があります。南西部の廻神町では、国道375号(呉～大田)が中心部で横断し、さらに県道青河江田川之内線が縦断しています。また、市内をエリアとする環境クリーンセンターがあります。

人口は、平成26年4月1日現在で1,592人、内男性757人、女性835人で、世帯数は、591世帯となっています。上水道や集落排水も整備され、利便性の良い居住環境にあり、他地域からの転入などで、人口もほぼ横ばいの傾向にあります。

川と盆地に恵まれた三次地方は、農耕や居住に適し、交通の要衝として栄えてきました。中でも神杉地域と田幸地域にまたがった浄楽寺・七ツ塚古墳群は、弥生、古墳時代の繁栄を物語るもので、広島県立歴史民俗資料館・みよし風土記の丘が整備されています。

また、神杉地域の町名や字名などは、地域に古くから伝えられてきた故事や伝説に由来し、特に神杉にいわれのある「ひこほほ日子穂々出見命てんせつ天下り伝説」は有名です。「民族の宝」「心のふるさと」を訪ねるのには格好の地域であると言えます。

地域の基幹産業は農業であり、稲作を中心に野菜、大豆、果樹などが生産されています。JA三次の東部支店や営農センター・集約倉庫・グリーンセンターなど、本市の営農の拠点施設が当地域に整備されています。

耕地は、近郷に類を見ない平坦で広範な沃地からなり、いち早く圃場整備が進められ農業振興が図られてきました。しかしながら、社会構造の変化や米の生産調整などにより、農業の現状は極めて厳しく、専業農家や農業従事者は極度に減少し、加えて例外なく少子・高齢化は確実に進行し、農業後継者の育成は深刻な課題となっています。

自治活動は、同じ敷地にある神杉コミュニティセンター、神杉保育所、神杉小学校のエリアを核に「人々がふれあい、地域が輝くまちづくり」を基本目標として、各分野において活発に活動が展開されています。



神杉の歴史と自然にふれあうまち

【歴史・環境】

基本施策

☆神杉地域は豊かな自然（河川・ため池・森林・水田）に恵まれています。また、天下り伝説や廻神藤十郎をはじめとする数々の言い伝えや史跡が残されています。この豊かな自然や史跡、伝統行事等にふれあい、伝承していくことで、ふるさと「神杉」への愛着を深めます。

☆地域住民の環境に対する意識を高めるため、地域内のクリーンセンターと連携し、身近な生活環境を見直し整えることにより、地球環境に配慮した美しく四季感あふれるまちづくりを目指します。

☆これらの歴史的資源、自然資源を活かし、より多くの人々が訪れ、にぎわうまちを目指します。

主要な施策

歴史的資源の活用と伝統行事の継承

- 史跡・名所への案内板の設置・環境整備
- 史跡マップ、伝説の映像記録づくり
- 史跡探索ツアー（史跡巡り）
- 郷土史の編纂
- 風土記の丘との事業連携(七夕まつりなど)
- 地域の伝統行事・民俗芸能の継承
- 神杉大田植の開催

四季感あふれるまちづくり

- 花いっぱい運動の展開
- 桜の里づくり（桜・もみじロードなど）
- 蛍の里づくり（蛍が帰ってくるビオトープづくり）
- 芝桜の里づくり

綺麗なまち、安心な環境づくりの推進

- クリーン作戦の実施
- ポイ捨てを無くする運動
- クリーンロードの推進

省エネルギー・資源リサイクルの推進

- ごみの分別・減量化の推進
- エコドライブ運動
- 環境に関する勉強会の開催
- 自然エネルギーの活用
- ファミリー ISO の推進





みんなの個性が光るまち

【文化・スポーツ・健康】

基本施策

- ☆生涯学習や文化・芸能活動の振興により、感性豊かでより個性が光るまちを目指します。
- ☆いつでも誰でも参加できるスポーツ活動を通して、生きがいのあるまちを目指します。
- ☆いつまでも生き生きと、健康で、元気な神杉人づくりを目指します。

主要な施策

地域自慢・郷土芸能の掘り起こし

- 地域ガイドマップ・芸能マップの活用
- 神杉よいところ保存会の育成・支援

生涯学習の場と機会の設定

- 地域の匠（特別な技術）の認定制度創設と技術の伝承
- おじいさんおばあさんの知恵袋に学ぶ
- 高齢者能力の積極的な活用
- キッズチャレンジの開催
- シルバー大学の開催
- 各種コミュニティ講座の開催

元気で明るい高齢者の住むまちづくり

- 機能回復施設の導入
- 健康づくり教室の開催
- 健康に関する講師の招聘
- 健康で年をとるための施策の展開
○健診（検診）、サロンなど

住民皆スポーツ活動の推進

- 合同運動会の開催
- スキーツアーの開催
- ゲートボールの開催
- グランドゴルフの開催
- スポーツ少年団の育成





すまいる 住んでよかった笑顔あふれるまち

【生活・福祉・産業】



基本施策

☆“ひと”が輝くまちを目指します。

☆犯罪や交通事故などがなく安全なまち、高齢者にやさしいまちを目指します。

☆子育てや教育に関わる魅力ある環境を作り出すことにより、安心して子どもを生み、育てることができるまちを目指します。

☆農業・産業の輝くまちを目指します。

主要な施策

お互いを尊重し、認め合えるまちづくり

- 男女共同参画社会の推進
- 働く女性の支援・充実
- 平和を尊び、人を大切に作る心を育む取り組み

みんなの顔が見えるまちづくり

- 子どもの安全を守る取り組み
- 通学路安全マップの活用
- 登下校時声かけ運動の推進
- 交通安全教室の開催
- 子ども110番活動の充実

希望あふれる農業の展開

- 地産・地消運動の推進
- 神杉の食文化を生かした特産品の開発
- 地域の素材を生かした料理研究
- 地元企業との連携
- 丹波黒大豆やいちごの里神杉など、特産品の開発・ブランド化
- 工房の設置・推進
- 転作田等を活用した都市交流農園、農業体験

定住のまちづくり

- 定住人口増加策の推進
- 住みよい神杉のPR
- Iターン・Uターンの推進
- 空家の情報収集と紹介
- 定住ツアー（案内）開催
- 空家の改修

安心・安全なまちづくり

- 安全な道路網の整備
- 自主防災会活動の推進（災害に強いまちづくり）
- 避難場所等の整備・充実
- 防犯灯の設置推進
- 青色防犯パトロール
- 無火災運動の推進

高齢者支援ネットワークの充実

- 敬老会の開催
- 一人暮らしの高齢者配食サービスの充実
- ふれあいいきいきサロン活動の展開
- ボランティア活動の推進



気軽に集いふれあうまち

【交流・自治】



基本施策

☆コミュニティセンター、小学校、保育所、尾首山憩いの森など近隣施設で子どもから高齢者までいつでも交流ができる環境を整え、ふれあい、支えあうことができるまちを目指します。

☆核家族化や少子化が進み、昔ながらの地域のつながりや、助け合いの心がうすれてきているといわれる今日。“向う三軒両隣”『ご近所』の輪(和)のなかで、生活のあらゆる場面で身近な人が支えあい助け合う“地域の力”をみなおし、地域の輪(和)を現在の大人たちから子ども、そして孫へと世代を超えて受け継いでいくまちを目指します。

☆住民参加型の積極的な自治組織活動を目指します。

☆積極的な情報の発信・受信により、他地域との交流があるまちを目指します。

主要な施策

誰もが気軽にふれあえる場所づくり

- 尾首山憩いの森の整備・活用
- 遊び場の確保
- ふれあい祭りの開催

「地域の力」で支えあい

- 「おたがいさま」と言える地域の輪づくり
- 子ども見守りネットワークの充実
- 育児サークル活動の育成・活動支援
- 幼児とお年寄りがふれあえる場づくり
- シニア世代の活躍

各種情報を地域の内外に発信する

- 自治連だよりの発行
- 神杉出身者との交流促進
- ケーブルテレビなどの活用
- ホームページの活用
- SNS(フェイスブック・ツイッターなど)の活用
- イメージキャラクターづくり

世代間交流の機会と場づくり

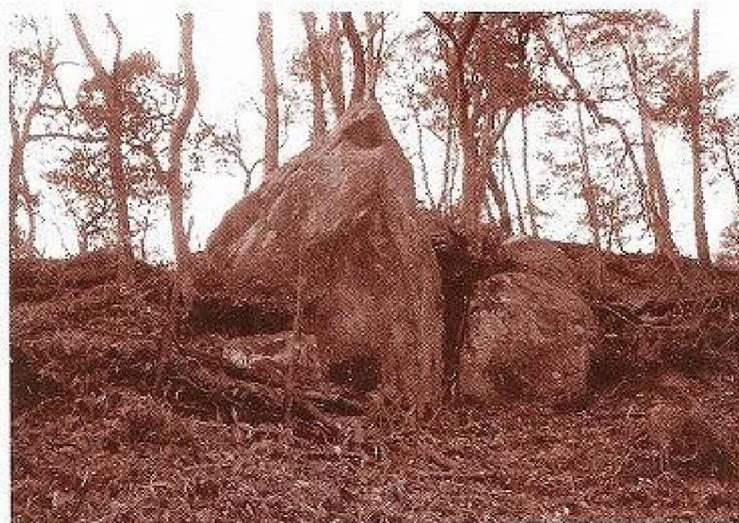
- 住民参加のまちづくりの推進
-
- 歩こう会・運動の集い開催

若者をはじめ誰もが参加しやすい自治活動の推進

- 自治活動拠点施設としてのコミュニティセンターの充実
- 地域の行事や組織等について見直しを行い、誰もが参加しやすい体制づくりを推進
- コミュニティセンターや集会所等の積極的活用
- 保育所や小学校の地域への開放と交流
- あいさつ運動の推進
- 単位自治活動の育成・強化
- 転入者との交流促進

拠点施設(公共施設)の整備

- 子育て環境の充実(保育所の建替え)
- 利用者のニーズに対応したコミュニティセンターへの建替え
- 小学校プールの改築
- 放課後児童クラブ室の確保
- 駐車場の確保



烏帽子岩

三次市が合併して10年が経過し、新たな総合計画を策定したのを機に当委員会は、時代の変遷や社会情勢の変化を考慮し、平成18年3月に策定した「神杉まちづくりビジョン」の見直し策定委員会を立ち上げました。委員会では、これまでの多方面にわたる活動の成果を評価するとともに、神杉地域のこれからの課題や夢とビジョンを語りながら、住み良い・住んで良かったまちづくりに向け、見直し策定を進めてきました。

神杉のまちづくりにこのビジョンを活用していただき、神杉地区自治会連合会に結集する各自治会・各機関・団体とともに、神杉の未来像の実現に向け、活用していただきたいと思ひます。

神杉まちづくりビジョン策定委員会

委員長	藤 後 敏 彦	委 員	久 保 誠	三 原 明 美
副委員長	有 田 新 治		内 藤 隆 弘	住 田 朋 江
			今 田 直 樹	川 添 由 起 子
			山 崎 良 太	日 熊 学